

広島高速4号線（広島西風新都線）^{せいふう}道路新設事業

受賞機関 広島高速道路公社

はじめに

広島都市圏では、山陽自動車道、中国縦貫自動車道などの高規格幹線道路の整備に対し、都市内の道路網の整備が遅れている。中四国地方の中核都市である広島市の都市機能をより高めるため、都市交通の高速性、定時性を強化する自動車専用道路網の整備が急務となっている。

広島高速4号線（広島西風新都線）は、広島市北西部に開発中の総合自立都市『広島西風新都』（計画人口10万人規模）と都心部をトンネルと橋梁でダイレクトに結ぶ約4.9kmの自動車専用道路である。

事業概要

路線名：広島高速4号線（広島西風新都線）

延長：約4.9km

規格：第2種第2級

設計速度：60km/h

代表幅員：17m（トンネル部）

車線数：4車線

事業費：約550億円

事業の特徴

○西風トンネル

本トンネルは全長約3.9kmの山岳トンネルで広島県内の道路トンネルとしては最長である。

施工方法はNATM工法で、早期完成を目指し3工区に分割し同時に施工した。途中、己斐断層の通過、山陽新幹線トンネルとの近接施工等、困難な作業状



西風トンネル



況にもかかわらず、平成11年4月の掘削開始から、わずか1年8カ月後の平成12年12月に貫通した。

○広島西大橋

本橋梁は太田川放水路（川幅約270m）を渡河するもので、「山並み」「市街地」といった相反する背景とよく調和するとともに、広々とした河川空間にあってシンボル性のあるアクセント機能を持たせる目的で、美観に優れる「連続斜張橋」形式を採用した。

また、河川における親水空間の構造物として、圧迫感を与えることなく、適度なスケールに収めることを目的に、リズムカルに林立する小ぶりの6基の塔と、各塔から張られた2段の一面吊りケーブルで主桁を吊るした「7径間連続斜張橋」で計画した。

この道路の整備により、都心部と山陽自動車道五日市ICや広島西風新都を中心とする広島市北西部地区の連絡が格段に向上し、国道2号西広島バイパスや国道54号祇園新道などの交通混雑の緩和が図られるとともに、広島都市圏の道路交通の高速性、定時性が一段と強化された。

受賞賛助会員 (株)奥村組広島支店、(株)ガイアートクマガイ中国支店、鹿島建設(株)広島支店、川田工業(株)広島営業所、駒井鉄工(株)中国営業所、小松建設工業(株)広島支店、大成建設(株)広島支店、(株)千代田コンサルタント広島支店、(株)東芝中国支社、(株)間組広島支店、(株)フジツ広島支店、復建調査設計(株)、三菱重工業(株)中国支社、(株)横河ブリッジ広島営業所



広島西大橋